

海洋開発等重点戦略の推進に必要な経費

基本情報

組織情報	府省庁	内閣府				
	事業所管課室	内閣府 総合海洋政策推進事務局				
	作成責任者	谷口礼史				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	020668	事業開始年度	2024	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	内閣府	2 5 海洋政策	3 0 海洋開発等重点戦略の推進		--	
関連事業	--		主要経費	科学技術振興費		
概要・目的	事業の目的	「総合的な海洋の安全保障」及び「持続可能な海洋の構築」を通じた海洋立国の実現				
	現状・課題	近年、我が国の周辺海域を取り巻く情勢の一層の緊迫化等を背景に、安全保障・経済安全保障の重要性が一層高まっている。また、脱炭素社会の実現等の社会的要請も高まるとともに、人口減少・労働力不足など、社会的な課題の深刻化が懸念されている。一方、海洋開発を支える海洋関連技術の進展等により、我が国の海洋開発は、ニーズ・シーズの両面から、新たな局面・段階に入りつつある。				
	事業の概要	海洋の開発・利用に関する施策のうち、国益の観点から特に重要であって、各府省の取組に横ぐしを刺して、府省横断で取り組むべきものについて、海洋環境保全との調和を念頭に、その強力な推進を図る。				
	事業概要URL	https://www8.cao.go.jp/ocean/policies/focus_strategy.html				
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分	
	--	--	--	--	--	
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	海洋開発等重点戦略	https://www8.cao.go.jp/ocean/policies/focus_strategy.html				
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL		
	--	--	--	--		
備考	--					

予算・執行

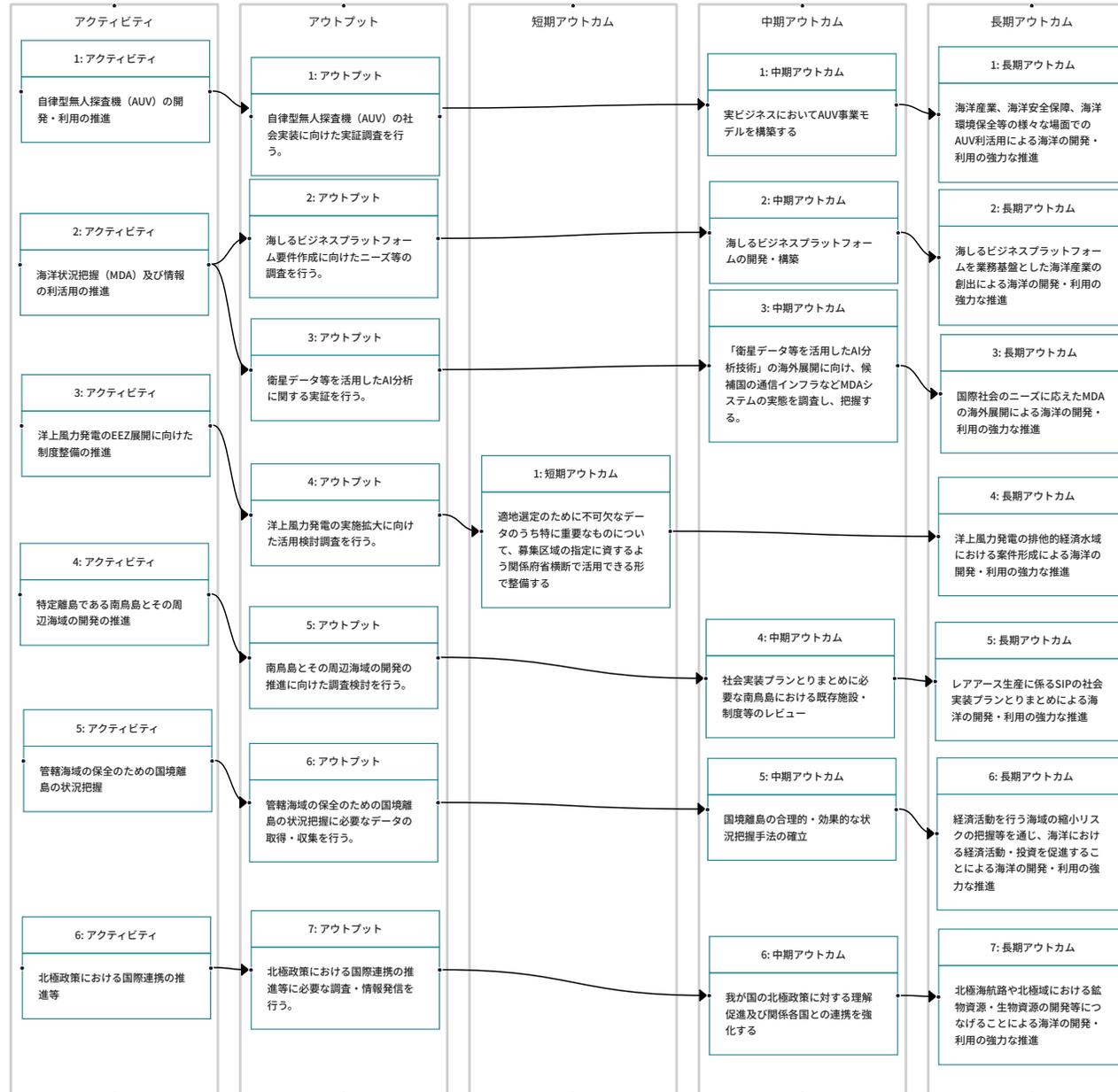
予算額執行額表 (単位：千円)			2024	2025	2026	
	要求額		--	1,102,958	--	
	当初予算		--	426,143	--	
	補正予算		678,914	--	--	
	前年度から繰越し		--	678,914	--	
	予備費等		--	--	--	
	計		678,914	1,105,057	--	
	執行額		0	--	--	
	執行率		0%	--	--	

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	1,051,395	--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 一般会計/内閣府/総合海洋政策推進事務局/海洋開発等重点戦略推進費/委員等旅費		--	192	--
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 一般会計/内閣府/総合海洋政策推進事務局/海洋開発等重点戦略推進費/職員旅費		--	7,860	--
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 一般会計/内閣府/総合海洋政策推進事務局/海洋開発等重点戦略推進費/海洋開発等重点戦略推進調査費		--	418,091	--
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前年度から繰越し</div> --		--	678,914	--	

主な増減理由	--	その他特記事項	--
--------	----	---------	----

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 1-1-1-1

アクティビティ	自律型無人探査機（AUV）の開発・利用の推進					
アウトプット	活動目標	自律型無人探査機（AUV）の社会実装に向けた実証調査を行う。		活動指標	実証件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度		
	当初見込み／目標値(件)			3	3	
	活動実績／成果実績(件)			0	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	公募で採用し実施した実証調査の結果を踏まえつつ、AUV官民プラットフォーム等において実ビジネスにおけるAUV事業モデルのあり方の検討・議論等を行う。					
中期アウトカム	成果目標	実ビジネスにおいてAUV事業モデルを構築する		成果指標	事業モデル構築数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	(参考) AUV利用実証事業での採択課題の一覧	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	2026年度	目標年度 2027年度
	当初見込み／目標値(件)		--	--	--	10
	活動実績／成果実績(件)		0	--	--	--
	達成率(%)		--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	AUV官民プラットフォームに参画している民間企業が主体となり、事業モデルを参考にしながら、実ビジネスにおけるAUV利活用への展開等を探る。					

長期アウトカム	成果目標	海洋産業、海洋安全保障、海洋環境保全等の様々な場面でのAUV利活用による海洋の開発・利用の強力な推進	成果指標	AUV事業件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	-
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	1
	活動実績／成果実績(件)	0	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 2-2-2-2

アクティビティ	海洋状況把握（MDA）及び情報の利活用の推進			
アウトプット	活動目標	海するビジネスプラットフォーム要件作成に向けたニーズ等の調査を行う。	活動指標	調査件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)		1	1
	活動実績／成果実績(件)		0	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	海洋産業分野等からのニーズを踏まえることにより、利便性の高いシステム開発につなげる。			
中期アウトカム	成果目標	海するビジネスプラットフォームの開発・構築	成果指標	-
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	民間の海洋情報の利活用をすすめるためには利活用のための場（海するビジネスプラットフォーム）を構築するという定性的な要素が重要であるため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	情報共有基盤が確立することにより、海洋産業分野における海洋情報の利用促進が図られる。			
長期アウトカム	成果目標	海するビジネスプラットフォームを業務基盤とした海洋産業の創出による海洋の開発・利用の強力な推進	成果指標	海するビジネスプラットフォームを業務基盤とするサービス・商品数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	海するビジネスプラットフォームの登録企業等への利用実績調査
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標 と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	最終目標年度 2029年度
	当初見込み／目標値 (件)	--	--	--	--	--	1
	活動実績／成果実績 (件)	0	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 2-3-3-3

アクティビティ	海洋状況把握（MDA）及び情報の利活用の推進			
アウトプット	活動目標	衛星データ等を活用したAI分析に関する実証を行う。	活動指標	実証件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度
	当初見込み／目標値(件)		0	1
	活動実績／成果実績(件)		0	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	国内ユーザーからの改善要望を踏まえることにより、利便性の高い「衛星データ等を活用したAI分析技術」の開発が図られる。			
中期アウトカム	成果目標	「衛星データ等を活用したAI分析技術」の海外展開に向け、候補国の通信インフラなどMDAシステムの実態を調査し、把握する。	成果指標	-
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	将来におけるMDAの海外連携のため、開発した衛星データ等を活用したAI分析技術をどのように利活用できるかは、対象国の通信インフラなどMDAシステムの実態をどれだけ把握できるかといった定性的な要素が重要となってくるため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	各国予算や人的実情に応じた適切な展開オプションの適用により、MDAの展開が図られる。			
長期アウトカム	成果目標	国際社会のニーズに応えたMDAの海外展開による海洋の開発・利用の強力な推進	成果指標	関係国数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	我が国が開発する衛星データ等を活用したAI分析技術の利用について、その導入や活用に向け構成された国際的な枠組件数（MOU、協議会等）を成果指標として計上する。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標 と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	最終目標年度 2029年度
	当初見込み／目標値 (カ国)	--	--	--	--	--	1
	活動実績／成果実績 (カ国)	0	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 3-4-1-4

アクティビティ	洋上風力発電のEEZ展開に向けた制度整備の推進				
アウトプット	活動目標	洋上風力発電の実施拡大に向けた活用検討調査を行う。	活動指標	契約件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度	
	当初見込み／目標値(件)		1	1	
	活動実績／成果実績(件)		0	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	EEZのうちどの海域を洋上風力発電設備の設置可能な区域として国が指定するか検討するため、海域の利用状況や自然的条件についてデータ収集を行う。				
短期アウトカム	成果目標	適地選定のために不可欠なデータのうち特に重要なものについて、募集区域の指定に資するよう関係府省横断で活用できる形で整備する	成果指標	整備件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	-	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度	目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	1
	活動実績／成果実績(件)	0	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	整備されたデータをもとに、自然的条件が適当であること等の基準に適合する適地を国が「募集区域」に指定し、当該区域において洋上風力発電を設置可能とする。				

アクティビティからの発現経路 4-5-4-5

アクティビティ	特定離島である南鳥島とその周辺海域の開発の推進			
アウトプット	活動目標	南鳥島とその周辺海域の開発の推進に向けた調査検討を行う。	活動指標	契約件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度
	当初見込み／目標値(件)		1	1
	活動実績／成果実績(件)		0	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	南鳥島とその周辺海域の開発の推進に向けた、既存情報の収集整理および調査の実施により、南鳥島の既存施設・制度等のレビューに必要な情報等を把握する。			
中期アウトカム	成果目標	社会実装プランとりまとめに必要な南鳥島における既存施設・制度等のレビュー	成果指標	-
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	-
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	既存情報の収集整理および調査の実施により、南鳥島の既存施設・制度等のレビューを行った結果として、社会実装プランとりまとめに必要な情報等を把握するものであるため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	南鳥島における既存施設・制度等のレビューの実施により、社会実装プランとりまとめに必要な情報等を把握する。			
長期アウトカム	成果目標	レアース生産に係るSIPの社会実装プランとりまとめによる海洋の開発・利用の強力な推進	成果指標	-
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	南鳥島における既存施設・制度等のレビューやSIPによるレアース生産に係る試験等の結果として、南鳥島周辺海域のレアース生産の社会実装等の可能性を模索するものであるため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

アクティビティからの発現経路 5-6-5-6

アクティビティ	管轄海域の保全のための国境離島の状況把握						
アウトプット	活動目標	管轄海域の保全のための国境離島の状況把握に必要なデータの取得・収集を行う。		活動指標	データの取得・収集を行った国境離島の数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2024年度		2025年度		
	当初見込み／目標値(島)		36		85		
	活動実績／成果実績(島)		0		--		
↓ 後続アウトカムへのつながり	国境離島の状況把握に必要な詳細な地形や写真等のデータを収集し、それらの情報から個々の国境離島の脆弱性等の特性を把握し、特性に応じた合理的・効果的な状況把握手法を確立する。						
中期アウトカム	成果目標	国境離島の合理的・効果的な状況把握手法の確立		成果指標	合理的・効果的な状況把握手法が適用可能となった国境離島の数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	収集したデータから島の特性を把握し、海洋事務局において適用する合理的・効果的な手法を検討する。それらの検討が完了した島から適用可能となった国境離島としてカウントする。		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	目標年度 2028年度
	当初見込み／目標値(島)		--	--	--	--	473
	活動実績／成果実績(島)		0	--	--	--	--
	達成率(%)		--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	国境離島の状況把握を効率的・効果的に行い、領海やEEZ等の経済活動を行う海域を規定する基線を適切に保全・維持することで、それらの海域の縮小リスクが低減される。						

長期アウトカム	成果目標	経済活動を行う海域の縮小リスクの把握等を通じ、海洋における経済活動・投資を促進することによる海洋の開発・利用の強力な推進	成果指標	-
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	国境離島の状況把握を合理的・効果的に行い、適切に保全がなされた結果として、経済活動を行う基盤となる管轄海域が維持されるため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

アクティビティからの発現経路 6-7-6-7

アクティビティ	北極政策における国際連携の推進等			
アウトプット	活動目標	北極政策における国際連携の推進等に必要な調査・情報発信を行う。	活動指標	件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度
	当初見込み／目標値(件)		1	2
	活動実績／成果実績(件)		0	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	関係国の北極政策や最新動向の調査及び我が国の北極政策等についての対外発信・情報収集・人脈形成等を行うことで、我が国の政策への理解向上や国際連携推進につなげる。			
中期アウトカム	成果目標	我が国の北極政策に対する理解促進及び関係各国との連携を強化する	成果指標	-
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	国際シンポジウム開催等による対外発信や情報収集及びネットワーク構築を通じて、我が国北極政策への理解向上や海洋（北極）の開発・利用に向けた関係国との連携強化を目指すものであるため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	我が国の北極政策に対する理解促進及び関係各国との連携強化を通じて得られた情報や人脈等の知見に基づき、北極海航路や北極域における鉱物資源・生物資源の開発等の可能性を模索する。			

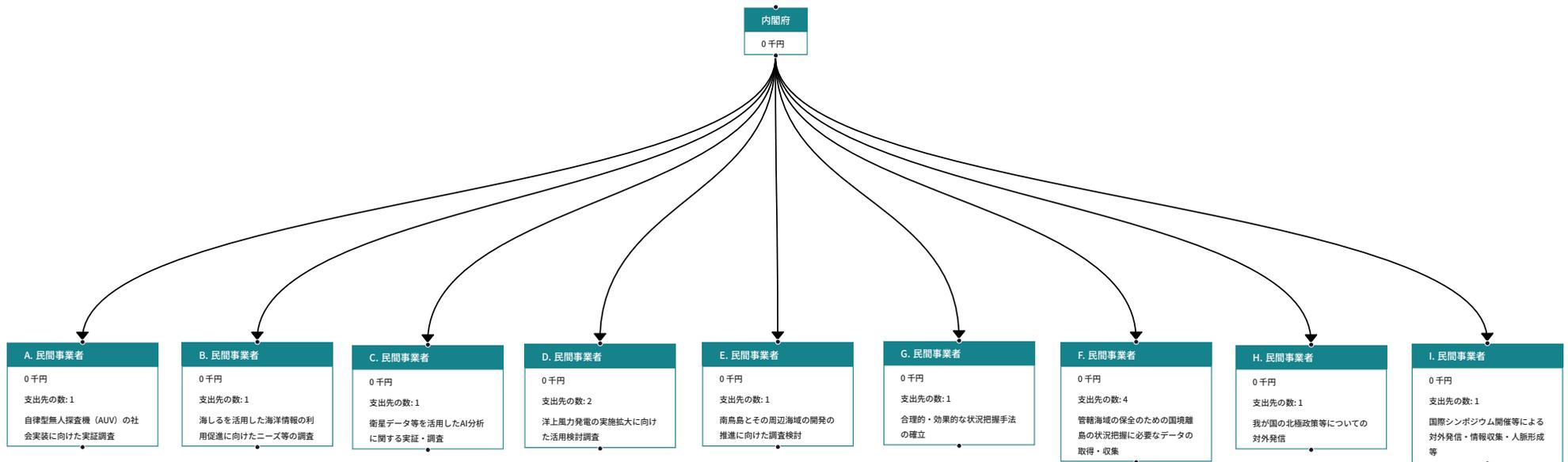
長期アウトカム	成果目標	北極海航路や北極域における鉱物資源・生物資源の開発等につなげることによる海洋の開発・利用の強力な推進	成果指標	-
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	-
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	我が国北極政策への理解向上や関係国との連携強化の結果として、北極海航路や北極域における鉱物資源・生物資源の開発等の可能性を模索するものであるため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	海洋開発等重点戦略		
	URL	https://www8.cao.go.jp/ocean/policies/focus_strategy.html		
	該当箇所	別紙（工程表）（PDF形式：1,210KB）		

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	--		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	--		
外部有識者による点検	点検対象	--	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	--		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

支出先

資金の流れ



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A	民間事業者	--	1	自律型無人探査機（AUV）の社会実装に向けた実証調査	
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	B	民間事業者	--	1	海しるを活用した海洋情報の利用促進に向けたニーズ等の調査	
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	C	民間事業者	--	1	衛星データ等を活用したAI分析に関する実証・調査	
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	D	民間事業者	--	2	洋上風力発電の実施拡大に向けた活用検討調査	
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	E	民間事業者	--	1	南鳥島とその周辺海域の開発の推進に向けた調査検討	
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	F	民間事業者	--	4	管轄海域の保全のための国境離島の状況把握に必要なデータの取得・収集	
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	G	民間事業者	--	1	合理的・効果的な状況把握手法の確立	
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
H	民間事業者	--	1	我が国の北極政策等についての対外発信		
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
I	民間事業者	--	1	国際シンポジウム開催等による対外発信・情報収集・人脈形成等		
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	--	--	--	--	--	--

国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)	契約先名	契約額	法人番号
	--	--	--

その他備考

--